

## Y. M. 社会システム学科・3 年次生

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

大学入学したときから、いつか留学してみたいと考えていました。行動に移し始めた時期は 2 年生の秋頃で、様々な国から人が集まるヨーロッパに留学したいと考えていたのでドイツ留学を決意しました。

#### ② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

IELTS の試験に向けて勉強しました。私は writing と speaking が苦手だったので、youtube にあがっている speaking の動画を見たり、IELTS の writing に特化した本を購入したりと、2 日に 1 回 writing の練習を行っていました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

##### ◆ 語学学習法

英語は Netflix で英語字幕と日本語字幕を同時再生して、英語に慣れるようにしていました。ドイツ語はドイツ語会話の本を購入し、最低限の挨拶や日常生活で役立ちそうな言葉を覚えていました。

##### ◆ ビザ申請方法

私は日本では visa 申請の予約が取れず、現地の外国人局で temporary visa（短期滞在）という visa を取得しましたが、日本で申請されることを強くお勧めします。

#### ④ 現地到着後

##### ◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

本来電車で 30 分程の距離なのですが、重いスーツケースを持っていたため、1 時間半ほど到着に時間がかかりました。

##### ◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

現地に到着したのがオリエンテーションの一週間ほど前だったので、wise のカード作ったり、授業の履修など考えたりしていました。オリエンテーション期間は学校が様々なイベントを開催してくれました。デュッセルドルフを観光し、オランダへ日帰りで行くこともありました。そこで交換留学生同士の親睦を深める事が出来ました。

##### ◆ その他必要な諸手続き方法

現地に着いた次の日に住民登録を行いました。現地到着後から 2 週間以内に行う必要があります。閉鎖口座は expatorio を使用し、現地で銀行開設はせず、wise（送金サービス）を

使用していました。家賃や保険の支払いも全て wise で行っていました。

## ⑤ 語学研修期間

なし

## ⑥ 正規科目履修期間

### ◆ 大学の施設・環境について

図書館も綺麗で大学の周りにはスーパーがあったり、レストランがあったり、とても充実していました。先生方もとても優しく、質問したら快く答えてくれました。

### ◆ 履修科目について

#### ・ German course A1

2 回ほど writing の宿題がありました。また各セクションで、個人で web での振り返りテストがありました。最終試験は reading、writing、listening があり、また学生同士でペアを組み、speaking のテストもありました。

#### ・ Digital sales and distribution

ドイツの e コマースや流通について学びました。授業形態は先生の話聞いてメモを取り、最後は筆記の試験を受けました。

#### ・ Business English

私は b2 レベルの授業を履修しました。英語の文法やビジネス場面で役に立つフレーズを学び、また生徒同士のディスカッションやプレゼンテーションも行っていました。テストは筆記試験と speaking です。

#### ・ International teamworking skills

この授業は blocked seminar で最初の 3 日間はオンライン、残り 2 日間は対面で行いました。各国のコミュニケーションスタイルの違いや、様々な国の人とグループを組む時にどのようにコミュニケーションを円滑に進めるかなど学びました。最終課題はレポートです。

## ⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

学校で開催されているダンスの授業に時々参加していました。他にもヨガやピラティスの授業もありましたが、参加人数が多く、参加できませんでした。

## ⑧ 現地での住まいについて

### ◆ 正規科目履修期間

1 人部屋の寮に住んでいました。トイレ、シャワー、キッチン各部屋についていたのでとても快適でした。寮の目の前に食堂があるのでとても便利ですが、大学までは電車で約 40

分、スーパーも家の近くにはなく、いつも電車を使っていました。

### ⑨長期休暇の過ごし方

約 2 週間冬休みがあったので、半分は課題や就活に時間を使い、残り半分はドイツ国内を旅行しました。ミュンヘンやノイシュバンシュタイン城、ローテンブルクなど、南ドイツを訪れました。セメスターチケットを持っていたので、ICE のような高速鉄道以外は自由に使うことが出来るので、とても旅行しやすかったです。

### ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

時差があり、思うように就職活動が出来なかったのですが、S P I の勉強を行い、自己 P R の作成、自己分析を主に行っていました。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

楽しい思い出は沢山あるのですが、友達のお部屋でパーティーをしたり、韓国人の友達が韓国料理を作ってくれたり、嬉しかった事を覚えています。また授業でアントワープに 3 日間訪れ、ベルギー、オランダの学生と交流できたことも思い出です。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

現地での visa 習得が 1 番つらかったです。私は朝 6 時ぐらいに外国人局へ必要な書類を持ち、提出しに行きました。しかしそこでもらえたのは 90 日を超えたらドイツ国内へ戻ってくる事の出来ない仮ビザでした。その後に滞在許可証という 90 日を超えても自由に国外に出ることが出来るビザの取得を試みましたが、外国人局からの返信は来ず、結局取得できませんでした。私と同じ半年留学できていた交換留学生も同じく滞在許可証は取得できませんでした。デュッセルドルフは移民が多く、学生は後回しにされる可能性が高いので日本で取得することを強くおすすめします。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

缶やペットボトルの飲み物を買うときに、deposit としてプラス 0.25 ユーロを払い、スーパーでリサイクルすると deposit が戻ってくるシステムに驚きました。

## III. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

トルコ、韓国、中国、スペイン、チェコなど様々な国の交換留学生と交流できる点が良かつ

たです。ですが学校では現地のドイツ人と関わる機会が少なかったと感じました。そのため、私は現地の人と交流するために隣の大学のイベントや市の図書館のイベントに参加していました。

## ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

私は持っていないのですが iPad の方が直接書き込みでき、持ち運びしやすいので便利だと感じました。

## ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

日常会話は上達したと感じています。最初は住民登録などの手続きを行う時、英語でうまく伝えることが出来ませんでした。今では、以前と比べ苦手意識も減り、スムーズに行えるようになったと思います。

## ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

もし少しでも興味があるならば是非挑戦してほしいと思います。最初は金銭面や現地での生活に不安を感じていましたが、留学が終わって振り返ると本当に楽しかったし、良い経験だったなと感じました。留学先での思い出や経験は今後の人生でも生かせると思います。

## IV. 将来の目標

### 今後の進路、将来の目標・夢

はっきりとした目標はないのですが、英語を使う仕事をしたいと考えています。

## V. 写真



オリエンテーション期間に日帰りでオランダに行ったときの写真です。この時に沢山の人とお話しし、交流を深めることが出来ました。



これは授業でアントワープに行ったときの写真です。プレゼンテーション終わりに、皆でピザを食べに行きました。その後、夜のアントワープを散歩し、すごく楽しかった思い出です。



ドレスデンのクリスマスマーケットに行ったときの写真です。ドレスデンはドイツで有名なクリスマスマーケットの一つで、本当に規模が大きく、装飾も可愛くて感動しました。